平成２９年１月２０日

　　関　係　各　位

公益社団法人　静岡県建築士会

　　会長　佐藤　博行

　　　　　熊本地震における建築物の被災状況調査報告について

平成２８年４月に発生した熊本地震は、本震と思われた地震が前震となり、その後に起きた地震が本震となるなど、私たちが今までに経験したことのない地震であり、地域係数や断層の問題等はありますが、建築物に大変大きな被害をもたらしました。

今回の地震は改めて、静岡県建築士会のTOUKAI－0への取り組みや、応急危険度判定士の資質向上と制度の整備に、これまで以上にしっかりと取り組まなければならないことを示唆しています。

このことから本建築士会は、想定される東海地震や東南海地震に備えるため、平成２８年８月２５～２７日に掛け、本会会員を現地に派遣し、熊本地震の被災状況を調査いたしました。

今回、この調査結果について、会員を初め多くの皆様に御覧いただくために本報告を取りまとめましたので、ＨＰに掲載することとしました。

この調査報告を建築に関わる地震対策の一助として幅広く御活用いただくとともに、静岡県建築士会の活動について御理解をいただければ幸いと存じます。